



東京教区時報

きょうくニュース

第602号
2024年12月22日
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集 広報委員会

WEB:<http://nssk.org/tokyo> E-MAIL:comm.tko@nssk.org Phone:03-3433-0987 Fax:03-3433-8678

公 示

救主降生 2024年11月19日
日本聖公会東京教区主教
主教フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸

神のお祈りがあれば、聖職按手式を下記のように執り行い
執事 ウィリアムズ 藤田 誠
を公会の司祭に叙任いたします。
主にある諸教会のみなさまのご加禱をお願いいたします。

記

日 時 救主降生 2025年1月13日(月・休) 午後2時
式 場 日本聖公会東京教区 聖アンデレ主教座聖堂
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18 TEL03-3431-2822
司 式 主教 フランシスコ・ザビエル 高橋 宏幸
説 教 司祭 ヨセフ 太田 信三
式典長 司祭 ステパノ卓 志雄
※祭色は赤をういます。

以上

◇聖職試験(執事)説教試験

日時:1月19日(日)18時
場所:聖アンデレ主教座聖堂
志願者:聖職候補生 岡 フランシス

全能の神が志願者を見旨に従って公会の執事として召して下さるようお祈りください。
*試験は公開で行われますが、聖アンデレ教会ホームページよりライブ配信もあります。説教は英語にて行われます。

◇12月の代禱・信施奉獻先

▽世界エイズデー(1日)▽野宿生活者支援のため(Ⅱ)▽エルサレム教区の難民支援活動のため
▽日本聖書協会の働きのため▽難民・移住労働者のため

2023年日本聖公会宣教協議会からの呼びかけ ここからまた歩きはじめよう

~いのちに仕え、となりびととなるために~

1. 神のみ声に耳を傾けよう
2. 人々の声に耳を傾けよう
3. 世界の声に耳を傾けよう

◇2025年1月の代禱・信施奉獻先

▽主教座聖堂の働きのため▽視覚聴覚障害者伝道のため▽葛飾学園(サンピエール・保育園・学童保育)のため▽聖救主福祉会(深川愛の園・砧愛の園・まこと保育園、善福寺愛の園)のため

◇共育プロジェクト 黙想会のご案内

参加費無料、事前予約不要

主催:信仰と生活委員会 共育プロジェクト

【イメージを用いて祈る】

日時:12月26日(木)7時
場所:神田キリスト教会
ファシリテーター:上田 亜樹子司祭

今週・来週の予定

12月22日~1月11日

- 22(日) 降臨節第4主日
- 24(火) 降誕日前夕
- 25(水) 降誕日
- 29(日) 降誕後第1主日

2025年1月

- 1(水・休) 主イエス命名の日
- 5(日) 降誕後第2主日
- 6(月) 顕現日
- 11(土) 下町G牧師協議会

聖職按手式前リトリート(ナザレ)

◇北関東教区・東京教区宣教協働特別委員会

宣教協働小委員会「巡礼企画」のご案内

訪問教会：東京教区・真光教会

日時：2025年1月25日（土）11時～15時

費用：昼食500円 自由献金あり

見どころ：1875年にウイリアムズ主教によって深川に聖三一教会の名で建てられて、1889年に真光教会と改称、1953年には赤羽に移り、1973年に東京教区成立50周年記念事業として赤羽から町田へ移る。

申し込み締切：1月19日（日）

申し込み先は以下のメールアドレスまでお願いいたします。

junreiteam@googlegroups.com

応募の際、徒歩（13分）希望か車での送迎希望からお申し出ください。

送迎希望の場合、東急田園都市線「すずかけ台駅」に10時45分集合です。

主催：北関東教区・東京教区宣教協働小委員会

協力：北関東教区・東京教区広報小委員会

*巡礼チームブログ：<https://junreiteam777.blog.fc2.com/>



▽ランチタイムコンサート

日時：1月10日（金）12時20分～50分

場所：聖パウロ教会

演奏：石井大雅（オルガン）

入場無料

▽立教大学教会音楽研究所主催「リードオルガン特別講座」（講師：Marc Fitze、崎山裕子）

日時：2025年1月11日（土）16時半～18時

場所：立教大学池袋キャンパス・チャペル会館
2F マグノリアルーム

講師：Marc Fitze（スイス・ベルン聖霊教会オルガニスト、ハルモニウム奏者）

崎山裕子（立教学院オルガニスト、立教大学教会音楽研究所所員）

参加費無料・事前申込制（会場参加者30名、動画配信聴講者制限なし）

申込方法：申込専用フォームよりお申し込みください。

URL：<https://forms.gle/kRgEHHnpECr6AzTDA>

申込期限：11月14日（木）～

お問い合わせ：立教大学教会音楽研究所 メールアドレス music@rikkyo.ac.jp

2024年1月1日 能登半島地震のための祈り

いつくしみ深い神よ、1月1日の能登半島地震により、世を去った人びとを、あなたのみ手のうちに抱いてください。愛する者を失い、悲しむ人びとに、あなたの慰めといやしがありますように。

いまこの地震の被害を受け、生きることの困難さに直面している人びとと共に祈ります。住まいを失った人、生活に必要なものを得られない状況にある人、病やけがを負った人、心身の不調を感じている人、弱い立場に置かれている人を、主が守り支えてくださいますように。救援のために働いている人を力づけ、必要な支えが届けられますように。わたしたちが心を合わせ、隣人としてのあゆみを起こしていくことができますように。

これらの祈りを、悩み苦しむ者の助け主、いのちの糧である、み子イエス・キリストのみ名によってお願いいたします。アーメン

▽立教大学教会音楽研究所 2024 年秋学期「オルガン講座」(講師：佐藤 雅枝)

日時：2025 年 2 月 13 日 (木) 開講・全 4 回
場所：立教大学新座キャンパス・立教学院聖パウロ礼拝堂

講師：佐藤 雅枝 (立教新座中学校・高等学校オルガニスト、立教大学教会音楽研究所所員)

参加費：一般 28,000 円、学生・25,000 円 (全 4 回分)

申込方法：music@rikkyo.ac.jp までメールでお申
込ください (定員 4 名)

申込期限：2025 年 1 月 22 日 (水) 17 時

お問い合わせ：立教大学教会音楽研究所

メールアドレス：music@rikkyo.ac.jp

【教区事務所冬季休業のお知らせ】

12 月 25 日 (水・降誕日)、12 月 30 日 (月)
～1 月 6 日 (月) を冬季休業とさせていただきます。

【教区ニュース休刊】

12 月 29 日号、1 月 5 日号 休刊いたします。

▽立教大学教会音楽研究所主催公開講演会
「Laudate Dominum: 賛美と霊性の源流をたずねて」(シリーズ第 1 回)

日時：2025 年 2 月 18 日 (火) 14 時～16 時半
場所：立教大学池袋キャンパス 11 号館・A203 教室

講師：坂田 奈々絵 (清泉女子大学准教授)

袴田 玲 (岡山大学講師)

宮本 久雄 (東京純心大学教授、東京大学名誉教授)

参加費無料・事前申込制 (定員 150 名)

申込方法：申込専用フォームよりお申し込みください。

URL：<https://forms.gle/5NXmFvPmAQKE1N2S7>

申込開始：11 月 28 日 (木) より

共催：立教大学キリスト教学研究科・立教大学キリスト教学会

お問い合わせ：立教大学教会音楽研究所 メール
アドレス music@rikkyo.ac.jp

北関東・東京教区「新教区設立への道」の現在地②

宣教協働特別委員会 司祭 斎藤 徹

宣教協働特別委員会は、これまでの4つの小委員会を備え、協働と新教区設立への歩みに取り組んできました。

前号にて、新教区設立への働きを加速させるために、新たに2つの小委員会を設置していく予定であることを記しました。しかしながら、新教区の大きな課題である「教役者給与」の整備に関して、信徒・教役者からなる給与検討の特別なチームで取り組む必要があることが確認されました。本年秋の教区会で、報告・承認をいただくことを予定しておりますが、宣教協働特別委員会に、宣教・教務・給与検討の3つの小委員会を新たに設置することとし、既存の財政小委員会と併せた4つの小委員会を、新教区設立の「実務チーム」と位置付けて活動を展開しようと考えております。

10月5日に東京教区聖アンデレ教会ホールにて、北関東・東京教区合同教役者会が開かれました。両教区より37名の教役者が集い、主に新教区における教役者給与・宣教体制それぞれの方針案について担当者から説明があり、それに対して教役者からのヒアリングを実施する目的で開催されました。

新教区の教役者給与に関しては、会計支出の約7割を人件費が占めていますので、新教区の財政を考えていく上で、大きな課題です。また両教区の給与表には差異があり、教役者にできるだけ不利益が生じないように、また信徒の負担が重くならないように配慮・整備していくことは容易ではありません。それには時間と協議を重ねていく必要がありますが、今回の合同教役者会で方針案の説明がなされ、今後もヒアリングをしながら検討されていく予定です。次回合同教役者会は、11月29日に大宮聖愛教会で実施される予定です。

新教区の宣教体制については、両教区内にある既存の活動（部会や委員会など）を整理しつつ、新たな教区で展開していく宣教について、その骨組みを構築していくことを考えています。具体的には、7月27日に開かれた合同部長・委員長会で宣教担当グループから提示された新教区宣教において大切にしたい4つの柱（コミュニケーション、教育・共育、祈り、いのち）を中心に、新教区の宣教体制案について協議がなされています。現状では、幅広い年齢層にアプローチしつつ、ことに青少年世代と共に歩む体制の整備、教区の運営・管理、宣教活動にそれぞれ特化した組織づくりなどが協議されています。

今回の合同教役者会では、時間の都合で十分な議論やヒアリングを全て行えたわけではありませんが、今後も回を重ねてこれらの課題に取り組んでいきたいと考えております。また、現在は教役者に対する説明が行われ始めた段階ですが、今後、信徒のご理解やご協力をいただくためにも協議の機会を設けることを予定しています。

これまでの皆さんの教会生活、その営みを大切にしながら、新教区設立によって新たな宣教を展開していく「教会」としての道をご一緒に模索していきましょう。

* 「きょうどう通信第16号」（北関東・東京教区宣教協働特別委員会 広報小委員会 /2024年10月27日発行）から同記事を抜粋掲載しました。